



ひきさんの とっくん

□ がつ □ にち

**1** ひかるさん、あかりさん、おかあさんの 3 にんが うみで かいがらひろいを しました。



わたしは かいがらを 8まい ひろいました。



わたしは おかあさんより ひろった かいがらが 2まい すくないよ。



ぼくが ひろった かいがらは、あかりより 3まい すくなかったよ。

**1** あかりさんが ひろった かいがらは なんまいでしょう。

しき  $8 - 2 = 6$       ことえ **6まい**

**2** ひかるさんが ひろった かいがらは なんまいでしょう。

しき  $6 - 3 = 3$       ことえ **3まい**

**3** おかあさんが ひろった かいがらは ひかるさんが ひろった かいがらより なんまい おおいでしょう。

しき  $8 - 3 = 5$       ことえ **5まい**

おうちのかたへ 今回の学習のねらい

- ・2段階で答えを求める文章題に取り組む。
- ・たし算、ひき算の発展問題に取り組む。

ほげましスタンプ



**2** ひかるさん、あかりさん、おとうさんの 3 にんで はなびを して います。おとうさんは はなびを 7ほん もって います。



ぼくが もって いる はなびの かずは おとうさんより 3ほん すくないよ。



わたしが もって いる はなびの かずは ひかるより 1ほん すくないよ。

あかりさんが もって いる はなびの かずは なんぼんでしょう。

しき  $7 - 3 = 4$   
 $4 - 1 = 3$       ことえ **3ほん**

**3** おなじ えの ところには おなじ かずが はいります。 □ に あてはまる かずを かきましよう。

$\begin{matrix} 7 \\ \text{うさぎ} \end{matrix} - 5 = 2$        $\begin{matrix} 7 \\ \text{うさぎ} \end{matrix} - \begin{matrix} 3 \\ \text{いぬ} \end{matrix} = 4$   
 $\begin{matrix} 3 \\ \text{いぬ} \end{matrix} + 6 = \begin{matrix} 9 \\ \text{ねこ} \end{matrix}$

今回の学習のねらい

- ・2段階で答えを求める文章題に取り組む。
- ・たし算、ひき算の発展問題に取り組む。

アドバイスと支援のポイント

今回は、低学年の算数の問題ではほとんど扱われていない2段階で答えを求める文章題を取り上げます。問題文から必要な情報を読み取り、直接答えを求めるのではなく、まず答えを導き出すために必要な要素を求めなくてはなりません。読解力と論理的思考力が重要なとても難しい問題ですので、お子さまと一緒に問題文を読むなどサポートしてあげるとよいでしょう。

**1②**では、**1①**で求めた答え、**1③**では**1②**で求めた答えを使って立式ができるとういでしょう。お子さまが戸惑っていたら、**1①**の答えの近くに「あかりさんが拾った貝殻の枚数」、**1②**の答えの近くに「ひかるさんが拾った貝殻の枚数」などと書き、求めた情報を整理してあげるとよいでしょう。

**2**は**1**のように段階を分けて出題がされていません。**1**の問題で学習したことを生かし、まず何を求めればいいのかというところから考えなくてはなりません。お子さまが戸惑っていたら、「あかりさんの持っている

花火の数を求めるためには、ひかるさんの持っている花火の数が必要だね。まずは、ひかるさんの持っている花火の数を考えよう。」と声をかけてあげるとよいでしょう。

上記解答例では、「 $7 - 3 = 4$ 、 $4 - 1 = 3$ 」と式を2つ立てたものと、式を1つにまとめて「 $7 - 3 - 1 = 3$ 」としているものの両方を掲載しています。このほか、どれだけ少ないかをまず「 $3 + 1 = 4$ 」と求め、そのあとで「 $7 - 4 = 3$ 」と答えを求める考え方もあります。どの式でも正解ですので、**2では考え方が合っていれば、○をつけてお子さまを大いにほめてあげてください。**

**3**は覆面算の問題です。あてはまる数がわかったら次の式にあてはめて考えていきます。**とても難しい問題ですので、おうちのかたのサポートがあったとしても3に正解できた場合には大いにほめてあげましょう。** 今月はひき算の学習でしたが、たし算の式も混ざっていますので、注意が必要です。